

平成25年度 事務事業評価調査〔ソフト事業〕

事務事業コード 12211009

平成25年度作成

平成24年度  
実施事業

事務事業名 健康診査事業

区分	No	名称
章	1	やさしさと共生するまち
節	2	市民一人ひとりが生涯を通じて健康に暮らせるまちをつくる
施策	2	保健予防活動の充実
小分類	1	成人保健の充実
主要な施策	1	①各種検診の充実と受診率の向上
事務事業番号	009	事業開始年度 昭和 57 年度 事業終了年度 平成 ー 年度 会計種別 一般会計

部 名	保健福祉部	グループ名	健康推進グループ
-----	-------	-------	----------

事務事業の概要

《Plan・Do》

目 的	(事務事業の実施目的を具体的に記入してください)
	市民を対象とした健康診査の実施により、生活習慣病の早期発見と疾病初期での早期治療を推進し、市民の健康の保持・増進を図ることを目的とする。
事業内容及び実績	(事業内容及び平成24年度の実績を具体的に記入してください)
	40歳以上の市民を対象に健康診査、各種がん検診、肝炎ウイルス検査、歯周疾患検診を実施した。 【事業実績】 ・胃がん検診 受診数 693人 ・大腸がん検診 受診数 2,037人 ・肺がん検診 受診数 2,316人 ・乳がん検診 受診数 888人 ・子宮頸がん検診 受診数 967人(20歳以上) ・前立腺がん検診 受診数 1,269人(50歳以上) ・肝炎ウイルス検査 受診数 1,028人 ・歯周疾患検診 受診数 4人
今後の方向性	(次年度以降の事業展開における改善など今後の方向性を具体的に記入してください)
	市民の健康の保持増進のため、通年で各種検診の受診勧奨、個人通知等実施して受診促進を図り受診数の増加を目指す。
根拠法令等	(事業を実施する際、根拠となる法令・条例・規則・要綱等の名称を全て記入してください)
	健康増進法

事業費（財源内訳）の推移

《Plan・Do》

区分		単位	H23年度 決算	H24年度 決算	H25年度 当初予算	H26年度 見込	H27年度 見込
国庫支出金	名称 女性特有のがん検診推進事業費補助金	千円	5,624	5,624	5,365	5,365	5,365
道支出金	名称 健康増進事業費補助金	千円	3,046	3,190	3,400	3,400	3,400
地方債	名称	千円					
その他	名称 健康診査受診者負担金・北海道後期高齢者医療広域連合健やか推進事業補助金	千円	5,023	5,894	5,989	5,989	5,989
一般財源	名称	千円	28,740	26,873	30,398	30,398	30,398
事業費 合計			42,433	41,581	45,152	45,152	45,152

指標の推移

《Check》

区分		単位	区分	23年度 実績	24年度 実績	25年度 目標	26年度 目標	27年度 目標
成果 指標	① 大腸がん検診受診数	人	目標値	1,550	1,720	2,160	2,160	2,160
			実績値	1,883	2,037			
	② 肺がん検診受診数	人	目標値	2,295	2,150	2,250	2,250	2,250
			実績値	1,923	2,316			

比較		《Check》
平成24年度実施以前又は実施中に見られた課題、問題点等	左記の解決に向け行った取組や対策、工夫等	
歯周疾患検診の受診が少ない。	対象年齢者への個人通知を実施したが効果がなかった。受診拡大のため、平成25年度は節目年齢以外の人も受診できるように、また、自己負担を無料で受診できるように試行的に実施する。	

担当グループによる事務事業評価の内容（複数回答可） 《Check》

1. 事務事業の妥当性について			
市が事業主体として実施していくべき妥当性の高い事業ですか？	<input type="radio"/>	① 市が主体に行うべき事業である	判断理由及びその他所見 健康増進法により、市が取り組む事業として位置づけられている。
	<input type="radio"/>	② 民間(事業者、市民団体等)でも実施可能である	
	<input type="radio"/>	③ 国、道、他団体等との連携や広域化が可能である	
	<input type="radio"/>	④ 国、道、民間等の事業と重複・類似している	
2. 事務事業の必要性について			
市民ニーズの状況等から勘案して、必要性の高い事業ですか？	<input type="radio"/>	① 市民、団体等から具体的な要望がある	判断理由及びその他所見 市民の健康づくりのため、疾病の早期発見・早期治療して健康の保持増進に寄与するよう各種検診を実施することは必要である。
	<input type="radio"/>	② 市民アンケートの結果から必要性が高い	
	<input type="radio"/>	③ 社会情勢、地域事情等から必要性が高い	
	<input type="radio"/>	④ 市民の大部分が関連することから必要性が高い	
3. 事務事業の効率性について			
事業内容とコスト(事業費)のバランスがよい効率性の高い事業ですか？	<input type="radio"/>	① 低予算、少労力で高い効果をあげている	判断理由及びその他所見 必要最低限の経費で実施しており、効率性は高いと思われる。
	<input type="radio"/>	② 市で実施するほうが民間委託より効率性が高い	
	<input type="radio"/>	③ 多額の経費や労力を要するがやむを得ない	
	<input type="radio"/>	④ 将来的に効率性を向上できる	
4. 事務事業の成果について			
目的を達成するための成果はあがっていますか？	<input type="radio"/>	① 成果指標の向上が見られる	判断理由及びその他所見 検診から疾病が発見され、早期に治療に結びつく人がいることから成果は見られる。
	<input type="radio"/>	② 市民、団体等の声から成果を感じられる	
	<input type="radio"/>	③ 目に見える形で成果があがっている	
	<input type="radio"/>	④ 成果の把握は困難である	

①担当グループによる評価 《Check》

<b>維持</b>	左記の評価を選択した具体的な理由(根拠)	国が推進するがん対策に基づいて、健診受診率向上のため、女性のがん検診・大腸がん検診等特定の年齢者に対しクーポンによる無料検診を継続実施すること、特定健康診査との同時実施を継続して勧奨していく。
-----------	----------------------	--

②行政評価会議による評価 《Check》

<b>維持</b>	備考	
-----------	----	--